

# MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売部品

形名 PAC-SG90DM PAC-SH31DM  
PAC-SG91DM PAC-SH32DM

# 天吊Gタイプドレンアップメカ取付説明書

\*取付け前に本説明書と室内ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。

## 安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上実地に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤って取付けをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

**警告** 誤った取付けをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

**注意** 誤った取付けをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

取付け完了後、配管を正しい位置に固定することを確認すること、お客様ご自身で取付けを行わないこと、お取り扱いの仕方を必ずお読みください。この取付説明書と取付部品と共に、お客様で保管いただくようご注意ください。また、お使いになる方がわかる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようにお願ひください。

**警告** 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。  
お客様ご自身で取付けをしないこと、不適切な取付けは、火災等の原因になります。

**注意** 取付けは、この取付説明書に従って厳密に行なう。  
取付け作業がある時、作業は必ず安全帯を着用してください。

**注意** 冷暖配管の断熱は脱落しないように厳密に行なう。  
冷媒配管内を汚すことと配管を圧迫して、冷媒の発生、元々凍り凍り、大気中の水分が凝結しやすくなります。

**注意** ドレン配管は、取付説明書に従って厳密に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。  
空調工事に伴って発生する水漏れ、天井・床が浮き上がる等の原因となります。

## 1.付属部品のご確認

\*下記部品が付属されておりますので、取付け前に確認ください。

①ドレンアップメカ	②アタッチメント	③ネジ(4×10)	④VP-20管	⑤パイプカバー	⑥フレキシブルホース	⑦ファスナー	⑧L字管(ガス)	⑨L字管(液管)	⑩断熱材A 6×220×90 大気巻付用	⑪断熱材B 3×250×120 分銅巻付用	⑫後面穴カバー	⑬ネジキャップ
-----------	----------	-----------	---------	---------	------------	--------	----------	----------	----------------------------	-----------------------------	---------	---------

## 2.ドレンアップメカ取付け状態図

このドレンアップメカは、室内ユニット内部に取付けて使用するものです。  
ドレンアップメカ取付けにより、ドレン配管・冷暖配管共に上側の取出口となります。  
ドレンアップメカ取付けは、室内ユニットを吊り込む前に行なう方が容易にできます。

\*詳細は室内ユニットの据付工事説明書を参照願います。  
\*付属L字管(⑧または⑨)は、いずれの冷暖配管にも対応しています。

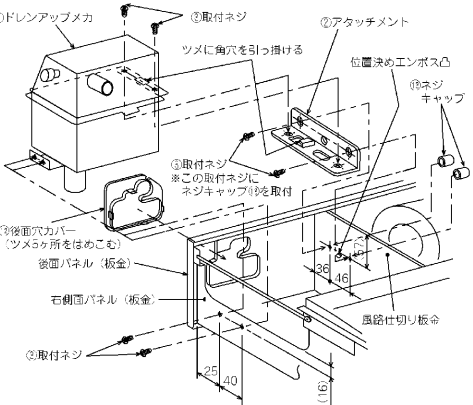
正面から見ると、取付ネジ、付属L字管(液管)、付属L字管(ガス管)、ドレンアップメカ、アタッチメント、フレキシブルホース、ドレン抜き口、ドレン接続口、室内ユニットドレン接続口、フレキシブルホース、エルボ(現地手配)、VP-20管(現地手配)、VP-20管(外径φ26)パイプカバー、リード線、ゴムプッシュ、取付穴、ドレンアップメカ、本体ノックアウト穴(上配管用)が確認できます。

天井穴位置: 室内ユニット後面 120mm、室内ユニット右側面、本体ノックアウト穴(上配管用)、φ2-φ10J天井穴

形式	ガス管	液管	A	B	C	D	ドレンアップメカ形式
40~63形	φ12.7	φ6.35	210	210	38	400	PAC-SG90DM PAC-SH31DM
71~160形 PG-P9形	φ15.88	φ9.52	270	150	98	350	PAC-SG91DM PAC-SH32DM

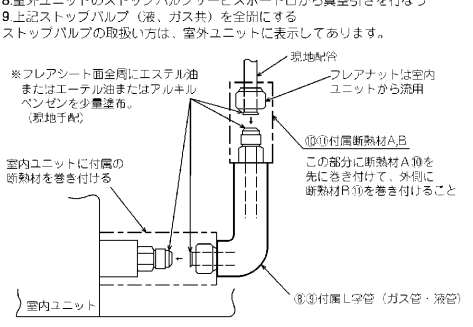
## 3.ドレンアップメカ取付け

- 吸込グリルとサイドパネルを取外す(室内ユニットの据付工事説明書を参照)
- 室内ユニットの上配管用ノックアウト穴を開ける
- 付属アタッチメント②を取付ネジ③(2本)で固定
- 固定後、異径仕切り板を裏面に挿入したネジ部にネジキャップ⑬を取付
- ドレンアップメカ①を取付ネジ③(4本)で固定
- 後面パネルの配管穴に後面穴カバー⑫を取付ける



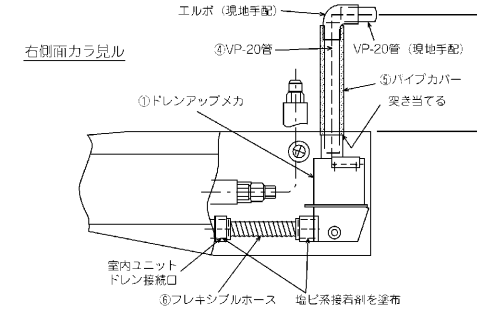
## 4.冷暖配管工事

- \*配管手順詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照ください。
- 【室外ユニットのストップバルブは全開のまま】
- 付属のL字管(ガス管、液管)⑧⑨のフレシアシート面にエステル油またはエーテル油またはアルキルベンゼンを塗布する
  - 室内ユニットのフレシアシート及びキャップを取外す
  - 室内ユニット側接続部のフレシアシート面にエステル油またはエーテル油またはアルキルベンゼンを塗布する
  - 付属のL字管(ガス管、液管)⑧⑨を素早く接続
  - 現地配管に取外したフレシアシートをはめてフレシア加工する
  - 現地配管と付属L字管を同様に接続する
  - 各接続部に断熱材を巻き付ける
- 【冷媒回路完成後】
- 室外ユニットのストップバルブサービスポートから真空引きを行なう
  - 上記ストップバルブ(液、ガス共)を全閉にする
  - ストップバルブの取扱い方は、室外ユニットに表示してあります。

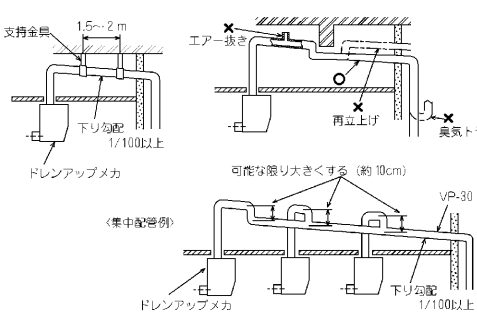


## 5.ドレン配管工事

- \*配管手順詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照ください。
- 付属VP-20管④をドレンアップメカ①のドレン吐出口に塩ビ接着剤を塗布して差し込む(差し込み長 30mm)
  - 付属VP-20管④と現地ドレン配管を90°エルボ等を使用して接着固定する
  - 付属パイプカバー⑤をVP-20管④に巻く
  - 付属フレキシブルホース⑥をドレンアップメカ①と室内ユニットドレン接続口に塩ビ接着剤を塗布してねじれないように差し込む
- \*ドレンアップメカから外部に至る間、ドレン配管は全て断熱を施してください。

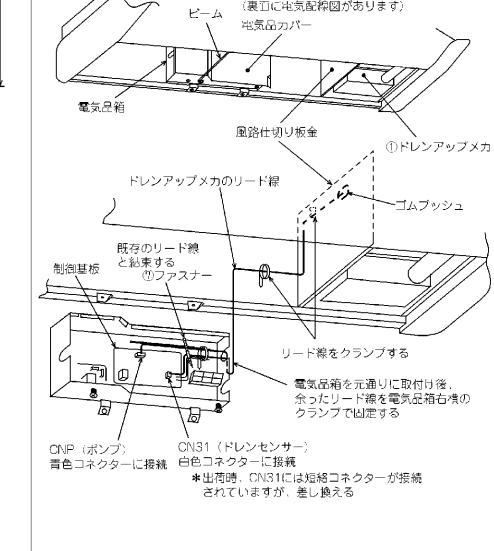


- 【ドレン配管工事は下記項目を厳守してください】
- ドレン管径は、(表1)のD寸法以下としてください。
  - 排水側(室外側)が下り勾配(1/100以上)としてください。
  - 途中にトラップや山越えを作らないでください。
  - 横引きは、20m以下にしてください。また、途中に支持金具を設けて液だちを無くしてください。
  - エア抜き等は、絶対に行わないでください。ドレンが吹き出る恐れがあります。
  - 硬質塩ビパイプ(液管)VP-20(外径φ26)を使用し、接続部は塩ビ接着剤を塗布して漏れないようにしてください。
  - 市販の断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03/肉厚9mm以上※)を巻いてください。
  - 中温用天吊Gタイプの場合は、天井内は肉厚15mm以上
  - 排水口部の臭気トラップは設けないでください。
  - 配管の出口は、臭気発生する恐れのある場所としてください。
  - 配管は、イオウ系ガスの発生する下水溝に入れないでください。
  - 集合配管はVP-30程度としてください。また、ドレンアップメカから立上げた配管の出口部より約10cm低い位置に集合配管がくるように施工してください。



## 6.電気配線工事

- \*室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照ください。  
\*電源がOFFであることを確認して作業してください。
- ビームを取外す
  - 電気品カバーを取外す
  - 電気品箱を下に引き降ろす
  - ドレンアップメカ①のリード線を、異径仕切り板のゴムプッシュから着脱させる
  - 室内ユニット制御基板のCNP,CN31コネクターに各リード線を接続する
  - 電気品箱内でリード線がばらつかないように付属のファスナーで結束する
  - 電気配線工事が完了したら電気品箱、カバー、ビーム等を元通りに取付ける



- \*出荷時、CN31には短絡コネクターが接続されていますが、差し換えてください。
- \*機種シリーズにより制御基板に接続するコネクターの位置が上図と異なる場合がありますが、確実に、CNP,CN31コネクターに接続してください。

## 7.試運転

- \*試運転により排水が確実に行なわれていること・各接続部からの水漏れのないことを確認してください。
- 1.室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照してください。
- 1.注水作業
- 右側面パネル(板金)の点検パネルを取外す
  - 点検口より約1リットル注水する
- 2.試運転
- 電源を入れる
  - リモコンの「試験運転」ボタンを2度押す
  - リモコンの「運転/停止」ボタンを押して冷房にする
  - 排水を確認する
  - リモコンの「試験運転/停止」ボタンを押して試運転を解除する
  - 電源を切る
- 3.確認後、部品を元通りに取付ける
- \*暖房シーズンにドレンアップメカを取付けた場合は、必ず点検抜きを行なってください。また、ドレン抜き完了後はドレンプラグを元通りに差し込んでください。

# MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売部品

形名 PAC-SH16DM  
PAC-SH17DM

# 天吊Gタイプドレンアップメカ取付説明書

※取付け前に本説明書と室内ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。

## 安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上確実に守ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に前する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤って取付けをしたときに発生する危険とその程度を、次の表示で区別して示しています。

**警告** 誤った取付けをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。

**注意** 誤った取付けをしたときに、傷害または家財・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付け完了後、試運転を行い異常がないことを確認すると共に、お客様に「安全のために必ず守ること」や取付方法、お入れの仕方等を説明し、本書をお渡しいたください。
- この取付作業を取扱説明書と共に、お客様で確認いただくようご依頼してください。
- また、お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようにお願ひしてください。

**警告** 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。  
お客様自身で行われると、お客様に「安全のために必ず守ること」が守られず、火災等の原因となります。

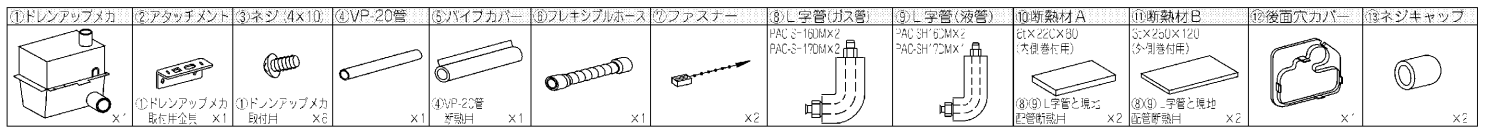
**警告** 取付けは、この取付説明書に従って確実に行なう。  
取付けが不十分であると、火災等の原因となります。

## ●取付け(移設)・電気工事をする前に

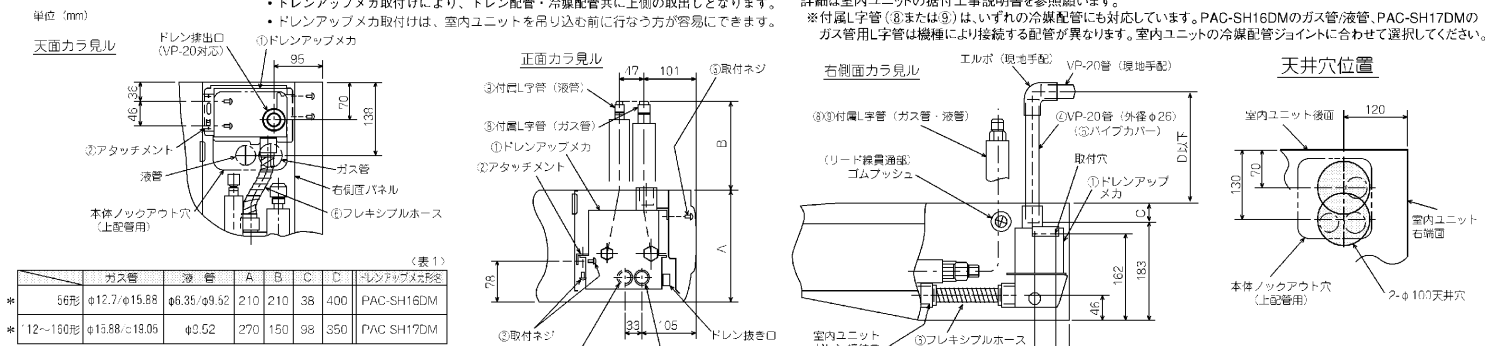
**注意** 冷暖配管の断熱は剥き出しにしないよう確実に行なう。  
室内の電気工事を行う場合は必ず電気工事用として、専任業者が在籍し、工事現場に必ず入場し、入場時の検閲・入場時の検閲を必ず受けてください。

**注意** ドレン配管は、取付説明書に従って確実に排水できるよう施工し、結露が生じないように保温してください。  
施工上どうしても不十分であると認められ、天井・床などに排水を流す原因となります。

## 1.付属部品のご確認

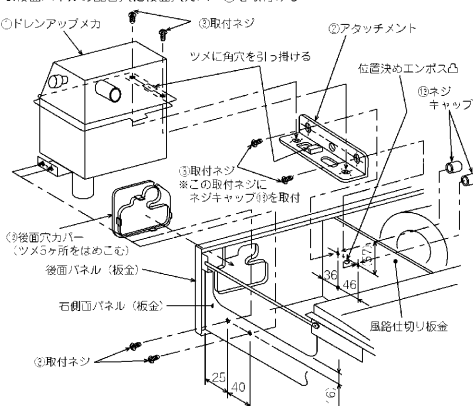


## 2.ドレンアップメカ取付け状態図



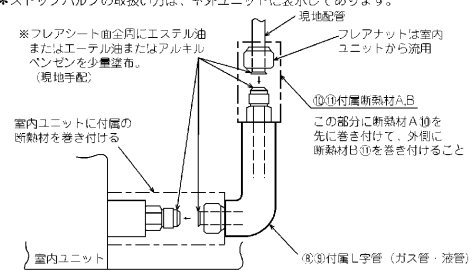
## 3.ドレンアップメカ取付け

- 1.吸込グリルとサイドパネルを取外す(室内ユニットの据付工事説明書を参照)
- 2.室内ユニットの上配管用ノックアウト穴を開ける
- 3.付属アタッチメント(2)を取付ネジ(3)(2本)で固定
- 4.固定後、扇状仕切り板を裏面に露出したネジ部にネジキャップ(13)を取付
- 5.ドレンアップメカ(1)を取付ネジ(3)(4本)で固定
- 6.後面パネルの配管穴に後面穴カバー(12)を取付ける



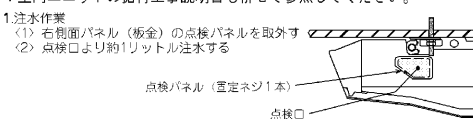
## 4.冷媒配管工事

- ※PAC-SH16,17DMの場合、適用室内ユニットの冷媒種により接続する配管サイズが異なります。  
配管手順詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照ください。
- 【室外ユニットのストップバルブは全開のまま】**
- 1.付属L字管(ガス管・液管) ⑧⑨のフレアシート面にエステル油またはエーテル油またはアルキルベンゼンを塗布する
  - 2.室内ユニットのフレアナット及びキャップを取外す
  - 3.室内ユニット側接続部のフレアシート面にエステル油またはエーテル油またはアルキルベンゼンを塗布する
  - 4.付属のL字管(ガス管・液管) ⑧⑨を素早く接続
  - 5.現地配管と取外したフレアナットをはめてフレア加工する
  - 6.現地配管と付属L字管も同様に接続する
  - 7.各接続部に断熱材を巻き付ける
- 【冷媒回路完成後】**
- 8.室外ユニットのストップバルブポートから真空引きを行なう
  - 9.上記ストップバルブ(液、ガス共)を全開にする
- ※ストップバルブの取扱い方は、室外ユニットに表示してあります。



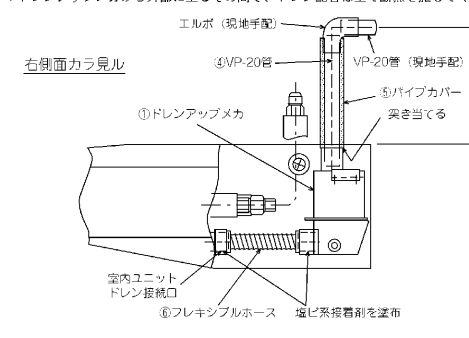
## 7.試運転

- ※試運転により排水が確実に行なわれていること・各接続部からの水漏れのないことを確認してください。
- ※室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照してください。
- 1.注水作業**
- (1) 右側面パネル(板金)の点検パネルを取外す
  - (2) 点検口より約1リットル注水する
- 2.試運転**
- (1) 電源を入れる
  - (2) リモコンの「試運転」ボタンを2度押す
  - (3) リモコンの「運転切替」ボタンを押して冷房にする  
※ドレンアップメカが作動して排水します
  - (4) 排水を確認する
  - (5) リモコンの「運転/停止」ボタンを押して試運転を解除する
  - (6) 電源を切る



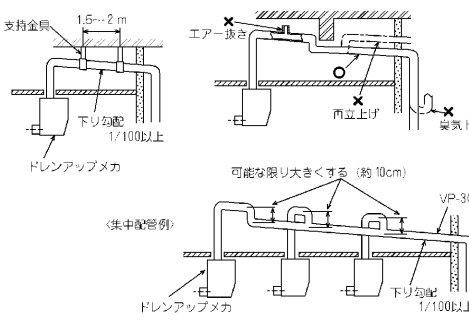
## 5.ドレン配管工事

- ※配管手順詳細は、室内ユニットの据付工事説明書を参照ください。
- 1.付属VP-20管(4)をドレンアップメカ(1)のドレン吐出口に増圧継着剤を塗布して差し込む(差し込み長 30mm)
  - 2.付属VP-20管(4)と現地ドレン配管を90°エルボ等を使用し接着固定する
  - 3.付属パイプカバー(5)をVP-20管(4)に巻く
  - 4.付属フレキシブルホース(6)をドレンアップメカ(1)と室内ユニットドレン接続口に増圧継着剤を塗布して差し込んで差し込む
- ※ドレンアップメカから外部に至るまでの、ドレン配管は全て断熱を施してください。



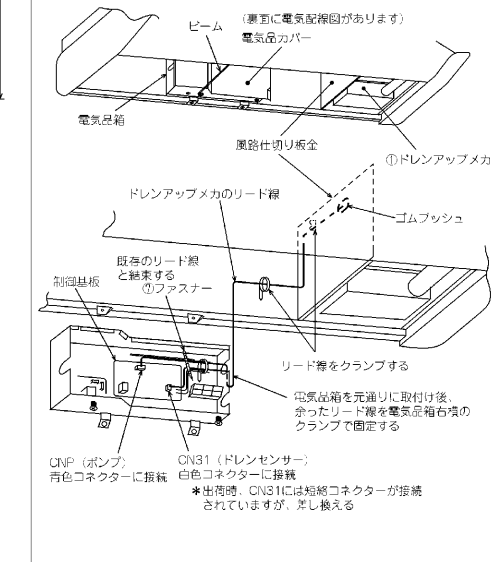
## 【ドレン配管工事は下記項目を厳守してください】

- ドレン揚程は、(表1)のD寸法以下としてください。
- 排水側(室外側)が下り勾配(1/100以上)としてください。
- 途中にトラップや山越えを作らないでください。
- 横引きは、20cm以下にしてください。また、途中に支持金具等を設けて液だけを無失してください。
- エア抜き等は、絶対に行わないでください。ドレンが吹き出る恐れがあります。
- 硬質塩化ビニール管(外径φ26)を使用し、接続部は増圧継着剤を塗布して漏れのないようにしてください。
- 市販の断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03/厚9mm以上)を巻いてください。
- 排水口部の臭気トラップは設けないでください。
- 配管の出口は、臭気の発生する恐れのない場所としてください。
- 配管は、イオウ系ガスの発生する下水溝に入らないでください。
- 集合内線はVP-30程度としてください。また、ドレンアップメカから立上げた配管の出口部より約10cm低い位置に集合配管がくるように施工してください。



## 6.電気配線工事

- ※室内ユニットの据付工事説明書も併せて参照ください。
- ※電源がOFFであることを確認して作業してください。
- 1.ビームを取外す
  - 2.電気品カバーを取外す
  - 3.電気品箱を下向きにする
  - 4.ドレンアップメカ(1)のリード線を、扇状仕切り板金のゴムブッシュから通させる
  - 5.室内ユニット制御基板のCNP,CN31コネクターに各リード線を接続する
  - 6.電気品箱内からリード線がはみ出ないように付属のファスナーで結束する
  - 7.電気配線工事が完了したら電気品箱、カバー、ビーム等を元通りに取付ける



- ※機種シリーズにより組立板上に接続するコネクターの位置が上図と異なる場合がありますが、確実に、CNP,CN31コネクターに接続してください。

